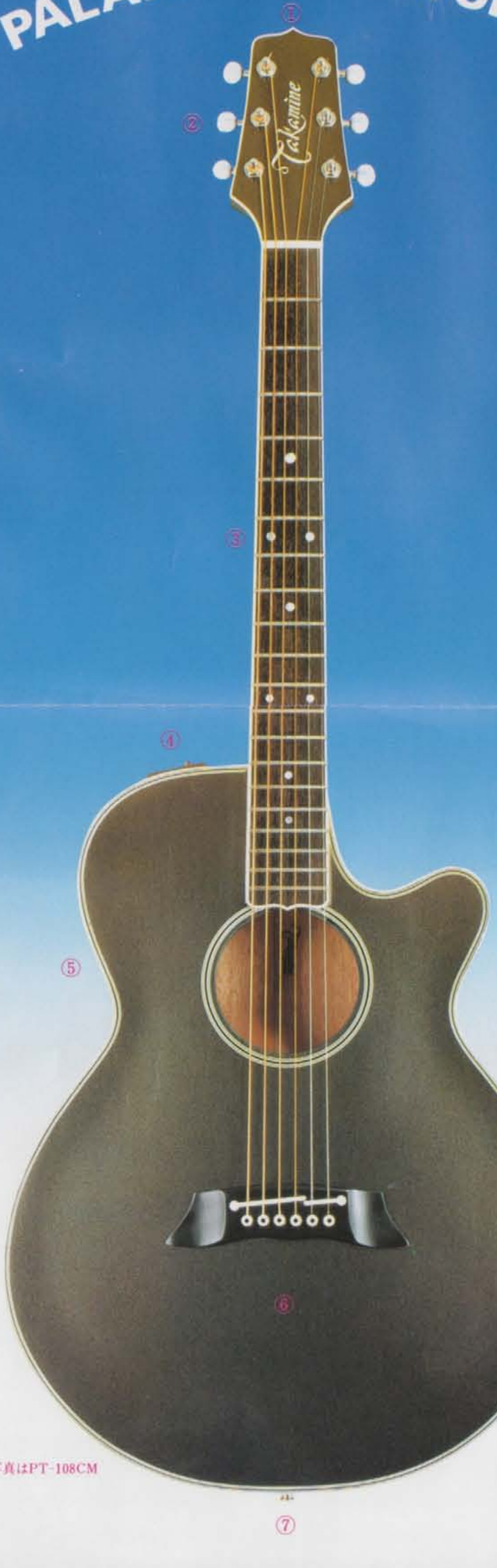
PALATHETIC FEATURES



＊写真はPT-108CM

①ヘッド

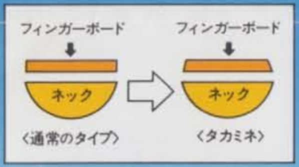
タカミネの登録商標、ヘッドに大[illegible]に入るロゴタイプがエレ・アコのシンボルの様に各社に見られるようになりました。従来、転写マークと呼ばれるシールか、貝などのものが使用される事の多かったヘッドに、デビュー当時は彫刻で入れ、現在ではゴールドとシルバーのアルミプレートがモデルによって使い分けられており、ステージでスポットを浴びた時は素晴らしい輝きを発します。

②タカミネ オリジナルマシンヘッド

ギターヘッドの形状によって音質は非常に異なるのです。ここにもタカミネの楽器に対するポリシーが[illegible]ています。

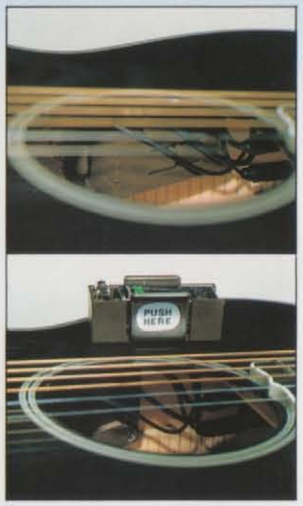
③フィンガーボード

図の様にタカミネのフィンガーボードは、台形にカットされています。カントリー・グリップ(親指で弦を押さえる奏法)に代表される数々の奏法に際してのフィンガリングもこの台形指板で非常に楽になり長時間のプレイでも疲れません。



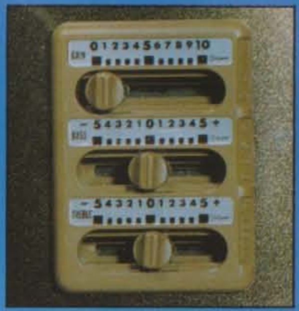
⑤バッテリー

電池は006P(9V)を使用。プラグをジャックに差し込んだ状態でONになります。寿命は約500時間です。プラグを差し込まない限り電流は消費されませんので、使用時以外は抜いておくようにして下さい。交換は非常にスムースにワンタッチでホルダーごと取りはずしができます。



④コントロール部

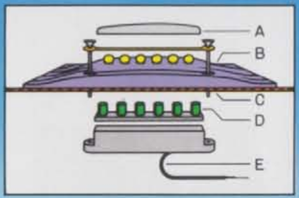
多くのプレーヤー達とディスカッションを繰り返し、考案されたスライド方式のコントロール。トレブルとベースはセンタークリック機構付き。プレイの最中の微妙な調整も容易かつ正確にコントロールする事ができます。

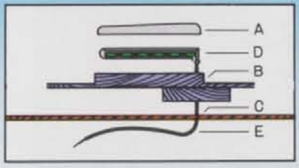


⑥ブリッジ内部

Ⓐサドル Ⓑブリッジ Ⓒトップ
Ⓓパラスティッククリスタル
Ⓔピックアップアンプリファイヤー

システムの心臓部、パラスティッククリスタルがここに収納されています。水晶というのは時計でもご存知のとおり、電流を与えると極めて正確な振動を起こす性質を持っています。その性質を逆に利用したのがパラスティッククリスタルです。上図の[illegible]をご覧下さい。各弦の真下に6つの集音部パラスティッククリスタルが個々に設けられています。このため各弦のバランスと分離に優れ、他の追随を許さぬ音色を生み出すのです。又、この方式だからこそ12弦からクラシックギターに到るまでをアンプリファイする事に成功し、ステレオシステムも可能にしたのです。





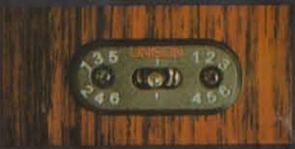
⑦エンドピンジャック

コードのプラグを差し込む為のジャックをエンドピンと一体化。

PALATHETIC STEREOSYSTEM

システム セレクタースイッチ

このスイッチの切り換えによって、ステレオ演奏時の2台のアンプから出て来る弦の音を選択します。

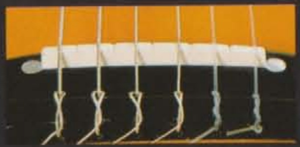


ステレオ ジャック

ステレオコードを差し込み、2台のアンプに接続します。

ステレオ用サドル

ステレオ仕様機種は、各弦の音の分離を考慮し、1弦・1弦の間にスキ間が設けてあります。



パラスティック ステレオシステム

TYPE (A)

片側のアンプから1・3・5弦の音、もう一方のアンプから2・4・6弦の音が出せます。ストローク奏法や、アルペジオ奏法で従来どおりの演奏をしても音の拡がりが断然違います。

TYPE (B)

片側のアンプから1・2・3弦の音、もう一方のアンプから4・5・6弦の音が出せます。カーターファミリー奏法や、オルタネイトベーシックパターンを用いる様なフィンガー奏法で弾くと、まるで2人で演奏しているような効果があり、片側だけにエフェクターをかけるのもアイデア次第です。

TYPE (C)

(PT-118〈ST〉・PT-115〈ST〉仕様)

TYPE (A)・(B)のパターンで演奏していて、フレーズの都合上、音を中央へ持って来たい時などに使用すると2台のアンプから1〜6弦の音が出ます。また、エフェクト音とノーマル音を2台のアンプから出すのも良いでしょう。

ステレオボックス (別売) ¥11,000

パラスティックのステレオモデルに、附属のステレオコード(3m)でこのボックスにつなぐと、後は手持ちのシールドコード(モノラル)2本で、自由自在に距離を延長する事が出来ます。さらにフットスイッチを切り換えると、TYPE (C) と同様の効果が得られます。

mus-D
STEREO-BOX